

第32回レーザセンシングシンポジウム開催趣意書

実行委員長 名古屋大学大学院 環境学研究科 柴田 隆

レーザセンシングシンポジウムは、1972年に開催された第1回レーザレーダシンポジウムから始まり、第12回からは現在の名称に変更され、今日に至っています。本シンポジウムは国内最大のレーザレーダ（ライダー）に関する学術会議であり、ライダーを代表とする様々なレーザセンシングに関わる全国の研究者や技術者の発表と情報交換の場として機能しています。

レーザレーダ研究会は、第1回レーザレーダシンポジウム開催の際に、日本のライダー研究の先駆者である稲場文男 東北大学教授を会長として組織され、シンポジウムの開催、レーザセンシング技術の向上と普及に関する活動をすすめてきました。また、レーザレーダ研究会は、日本で開催された過去三回（第6、17、23回）の国際レーザレーダ会議（ILRC）現地実行委員会を構成するなど、国際的な活動にも大いに貢献してきました。

レーザレーダ研究会主催のレーザセンシングシンポジウムは今年で32回目となります。シンポジウムでは、ライダー、レーザ、レーザ分光、レーザ計測など、幅広いレーザセンシング技術の開発と応用に関する学術成果や、今後の研究についての提案・展望などが幅広く発表されます。ちなみに、前回は平成25年9月12日～13日に箱根で開催され、99名が参加し、56件の発表がなされました。本年は、平成7年、蒲郡での開催以来、19年ぶりに東海地区での開催となります。飛騨地方有数の観光地である高山での今回の開催にあたり、多数のご参加を期待しています。

第1回目のレーザレーダシンポジウムが開催された1970年代初頭はレーザが現れてからの年月も浅く、レーザ技術はまだ未熟、また周辺の電子・光学技術も現在に比べればそれこそ隔絶の感があり、「レーザレーダ」を装置として実現すること自体が大仕事という時代でした。それから40年、今ではレーザレーダを搭載した衛星が宇宙を飛び、身近では気付かないようなところにもレーザセンシング技術が、ごく普通に使われています。今後レーザレーダを初めとしたレーザセンシング技術はますます広く利用されていくことでしょう。

本シンポジウムは、レーザセンシングの装置開発、計測・計装技術、データ解析、運用技術など、様々な技術分野の専門家に加え、大気・海洋・気象・環境科学関係の研究者が集い、情報交換を行う場として、重要な役割を担っています。今回のシンポジウムでも、レーザセンシングに関する幅広い分野の話題を取り上げてゆく予定です。関係各位のご参加を心よりお待ちしております。

第32回レーザセンシングシンポジウム	
主催	レーザレーダ研究会
第32回シンポジウム実行委員会	<p>実行委員長 名古屋大学大学院環境学研究科 柴田隆</p> <p>実行委員 同上 甲斐憲次 名古屋大学太陽地球環境研究所 野澤悟徳</p>
開催日程・会場・宿泊(懇親会)	<p>日程：平成26年9月4日(木)～5日(金)</p> <p>会場：高山市民文化会館 〒506-0053 高山市昭和町1-188-1</p> <p>TEL:0577-33-8333 FAX:0577-35-2239</p> <p>宿泊(懇親会)：高山グリーンホテル 〒506-0031 岐阜県高山市西之一色町2-180</p> <p>TEL:0577-33-5500 FAX:0577-32-4434</p>
発表形式	<p>口頭発表 発表時間 10分、質疑応答 5分(予定)</p> <p>ポスター発表 発表時間約 90分(予定) (ポスター：横72cm×縦101cm)</p>
特別講演	<p>村木 綏 名古屋大学名誉教授</p> <p>「屋久島の日照時間と太陽活動の相関」</p>
協賛・後援団体 (一部予定を含む)	<p>応用物理学会、環境科学会、計測自動制御学会、大気環境学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、電気学会、電子情報通信学会、日本気象学会、日本光学会(応用物理学会)、日本天文学会、日本分光学会、日本リモートセンシング学会、レーザー学会、日本測地学会</p>
参加費・宿泊費	<p>参加費：一般 6,000円、学生 2,000円</p> <p>宿泊費：11,000円</p> <p>懇親会費：3,000円(宿泊する場合)</p> <p>*参加費には講演要旨集代が含まれています。</p> <p>*シンポジウムに参加しない同伴者の宿泊も受け付けます(参加費不要)。</p> <p>*宿泊しない場合の懇親会費は追ってお知らせいたします。</p>
受付期間	<p>論文申し込み受け付け 平成26年3月3日～7月8日</p> <p>参加申し込み受付期間 平成26年3月3日～8月15日</p> <p>原稿提出受付期間 平成26年3月3日～8月4日12時</p>
ホームページ	<p>http://www-lidar.nies.go.jp/lss32/</p>